


2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科 名 ファッション工科基礎科 1 年		単 位	1
科目コード 980010	科目名 特別講義 I		授業期間	通年

担当教員(代表)：早瀬千加子他担任	共同担当者：1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増 6-田中・7-山根
-------------------	---

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）
 ・ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。
 ・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。

【授業計画】 1. マーケットリサーチ（1コマ） 波多野 辰美 先生 2. トータルコーディネーションとは・・・ヘア・メイクについて（1コマ） 夏目 幸恵 先生 斎藤 房枝先生 3. コンピュータグラフィック・・・ポートフォリオ作成（3コマ） 高崎 利々子 先生 4. マーチャンダイジング・・・（1コマ） 未定 5. ファッション業界について・・・アパレル業界の現状について（1コマ） 未定 6. 日本の装束・・・着物の一般知識・着装コーディネート・着付け（3コマ） 伊丹 宗友先生 7. 歌舞伎鑑賞オリエンテーション（1コマ） 窪寺 祐司 先生 8. ニッセンケン安全服・・・子供服（1コマ） 滝口 順司・竹中 直 先生 吉村 とも子先生 9. 下着の知識・・・下着の歴史、役割、サイズ、取扱いについて（1コマ） 増田 亜紀子 先生 小林 知美先生 10. ニットデザインについて（1コマ） 未定 11. パタンナーについて（1コマ） 依田 聖彦 12. 学生生活について（2コマ） 野町 一成 先生

評価方法・対象・比重 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 プリント他

授業の特徴と担当教員紹介 下着メーカーによる下着の知識の講義、品質評価センターによる安全服（子供服）の講義、企業での企画経験によるマーケットリサーチ、マーケティングの講義、企業の社長によるマーチャンダイジングの講義、ブランドデザイナーによるファッション業界の現状についてやデザインについての講義、着物デザイナーや舞台企画企業による日本の装束や歌舞伎の知識解説や着装実習、パタンナーによる企業におけるパターンの解説など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者署名欄	早瀬 千加子
---------------	--------

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科 名	ファッション工科基礎科 1 年	単 位	1
科目コード	904510	科目名	キャリア開発 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：早瀬千加子他担任、 森 薫子、井浦 つくし	共同担当者：1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増 6-田中・7-山根 森、井浦
-----------------------------------	---

【科目概要】

- ・人材育成のための講義と進級に関する講義で構成する。
(キャリアに関しては別紙参照)
- ・新しい環境の中で社会人と学生の違いを認識し、将来の進路を考えるきっかけを作る。また、コミュニケーション能力を高め、自分という存在について考え成長できる『人間力』の育成を目指す。
- ・各自の適性を把握し、進路について考え将来の方向性を決める。

【授業計画】

キャリア開発 I 後期集中 7 コマ
別紙参照

オリエンテーション 2 コマ
進級相談・上級教室見学 5 コマ

評価方法・対象・比重

評価基準： 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

キャリア：プリント

参考図書

なし

その他資料

各種参考資料他

授業の特徴と担当教員紹介


企業の人事部での経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

企業の社員研修企画・インストラクター実務担当等の経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

記載者署名欄 早瀬 千加子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科 名 ファッション工科基礎科 1 年		単 位	1
科目コード 980010	科目名 特別講義 I		授業期間	通年

担当教員(代表)：早瀬千加子他担任	共同担当者：1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増 6-田中・7-山根
-------------------	---

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）
 ・ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。
 ・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。

<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マーケットリサーチ（1コマ） 波多野 辰美 先生 2. トータルコーディネートとは・・・ヘア・メイクについて（1コマ） 夏目 幸恵 先生 斎藤 房枝先生 3. コンピュータグラフィック・・・ポートフォリオ作成（3コマ） 高崎 利々子 先生 4. マーチャンダイジング・・・（1コマ） 未定 5. ファッション業界について・・・アパレル業界の現状について（1コマ） 未定 6. 日本の装束・・・着物の一般知識・着装コーディネート・着付け（3コマ） 伊丹 宗友先生 7. 歌舞伎鑑賞オリエンテーション（1コマ） 窪寺 祐司 先生 8. ニッセンケン安全服・・・子供服（1コマ） 滝口 順司・竹中 直 先生 吉村 とも子先生 9. 下着の知識・・・下着の歴史、役割、サイズ、取扱いについて（1コマ） 増田 亜紀子 先生 小林 知美先生 10. ニットデザインについて（1コマ） 未定 11. パタンナーについて（1コマ） 依田 聖彦 12. 学生生活について（2コマ） 野町 一成 先生
--

<p>評価方法・対象・比重 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する</p>

<p>主要教材図書 なし</p>
<p>参考図書 なし</p>
<p>その他資料 プリント他</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介 下着メーカーによる下着の知識の講義、品質評価センターによる安全服（子供服）の講義、企業での企画経験によるマーケットリサーチ、マーケティングの講義、企業の社長によるマーチャンダイジングの講義、ブランドデザイナーによるファッション業界の現状についてやデザインについての講義、着物デザイナーや舞台企画企業による日本の装束や歌舞伎の知識解説や着装実習、パタンナーによる企業におけるパターンの解説など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施</p>

<p>記載者署名欄 早瀬 千加子</p>

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12101	科 名	ファッション工科基礎科 1 年	単 位	1
科目コード	904510	科目名	キャリア開発 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：早瀬千加子他担任、 森 薫子、井浦 つくし	共同担当者：1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増 6-田中・7-山根 森、井浦
-----------------------------------	---

【科目概要】

- ・人材育成のための講義と進級に関する講義で構成する。
(キャリアに関しては別紙参照)
- ・新しい環境の中で社会人と学生の違いを認識し、将来の進路を考えるきっかけを作る。また、コミュニケーション能力を高め、自分という存在について考え成長できる『人間力』の育成を目指す。
- ・各自の適性を把握し、進路について考え将来の方向性を決める。

【授業計画】

キャリア開発 I 後期集中 7 コマ
別紙参照

オリエンテーション 2 コマ
進級相談・上級教室見学 5 コマ

評価方法・対象・比重

評価基準： 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

キャリア：プリント

参考図書

なし

その他資料

各種参考資料他

授業の特徴と担当教員紹介


企業の人事部での経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

企業の社員研修企画・インストラクター実務担当等の経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

記載者署名欄 早瀬 千加子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科	2 年		単 位	1
科目コード	500200	科目名	デッサン			授業期間	前期

担当教員(代表)：牧かほり	共同担当者：
---------------	--------

教育目標・レベル設定など

ものを見る目を養う＝対象物を客観的に見つめ。基本構造(構成、動き、立体感、質感など)をとらえる。見たものをそのまま描ける力＝感覚神経と運動神経の連係プレーを鍛える。描く、という事によって自分のクリエイションに新たな視点を見つける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

基礎形体を描写することにより、遠近法、光と影の関係、反射光の存在など基本的な「描き方」を学ぶ。
「視る」ことに重点を置く、右脳描写方の実習。
ヌードクロッキーにて人物描写の体験
静物・石膏デッサンで物と物との「関係」の描き方、「空間」の描き方を学ぶ。
さらに、上手い絵、未熟な絵、魅力的な絵について考察し、今後の作品制作につなげる。

評価方法

提出物/A, B, C, F

主要教材図書

参考図書

その他資料


授業の特徴と担当教員紹介

フリーランスのイラストレーターとして企業の広告、ディスプレイ製作の経験をもとに、基本的な「描き方」、物と物との「関係」の描き方、「空間」の描き方などを実習しながら習得する授業を実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12202	科 名 アパレルデザイン科 2 年		単 位	1
科目コード 902000	科目名 西 洋 美 術 史		授業期間	後期

担当教員(代表)：布施伊織	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 複雑な成立過程を孕むようになった近代の西洋美術作品を中心に解説。単純に美術作品を紹介するのではなく、なぜそれらの傑作が生まれたのか、芸術家がどういう意図で作品制作を行ったのかを考察することで、クリエイションの方法論を探り、デザイン発想の引き出しを増やすことにつなげる。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	美術史的アプローチ方法の解説、建築史概観	16	
2	新古典主義、新たに成立した風景画、ロマン主義の哲学	17	
3	芸術のメッセージ性。クールベ、マネなどを通じて	18	
4	芸術のメッセージ性。ウィリアム・モリス、ゲーテ色彩論	19	
5	芸術の純粋性とは。印象派、ポスト印象派を通じて	20	
6	変容した絵画概念。ゲシュタルト心理学などを通じて	21	
7	装飾概念の解説、キュビズムとフォービズム	22	
8	表現主義。ムンク、ドイツ表現主義など。映画も活用。	23	
9	素材、表現スタイルなど芸術の多様化。デュシャンなど	24	
10	現代美術の展開。バウハウス、ポロックなど	25	
11	ポストモダン。ウォーホルやパンクなど	26	
12	美術解釈の位相を解説。解釈を想定した創作について	27	
13	21世紀の芸術。ビジネスか作家の個性か	28	
14	実習	29	
15		30	

評価方法・対象・比重
 毎回の簡易レポート
 最終回のデザイン発想実習

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル企業における商品企画等の経験をもとに、近代の西洋美術作品を中心に解説し、服飾デザイナーのクリエイションの方法論を探り、デザイン発想を引き出すことを目的とした授業を実施

記載者氏名

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 12202	科 名 アパレルデザイン科2年	単 位	1・1
科目コード 940105・940106	科目名 企 業・学 内 研 修 a・b (選択)	授業期間	後期

担当教員(代表): 阿川 周子	共同担当者: 1組=阿川 2組=森本
-----------------	--------------------

教育目標・レベル設定など

アパレル業界の現場・現状を把握させるために、アパレル企業で実際に研修を受けることで、学校教育で体験できない実学を学ぶ。

就職希望者の企業研修期間中に平行して、企業研修に参加しない学生は学内研修を受講

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

企業研修内容

企業の業務概要と、研修部門での業務について指導を受け、補助的な仕事に従事する。
終了後、研修報告をプレゼンテーションにて発表する。

学内研修内容

- 1、ピンワーク
- 2、コミュニケーションと文化Ⅰ
- 3、コミュニケーションと文化Ⅱ
- 4、OEM
- 5、グラフィックワークⅠ
- 6、グラフィックワークⅡ
- 7、ポートフォリオ作成
- 8、リクルートカラー 自分色
商品企画カラー戦略
- 9、起業について
- 10、デザイン画 ハンガーイラスト
- 11、自由実習(民族服、グループ制作) 10コマ
- 12、3.4限準備・発表 2コマ

計=36コマ

※企業研修・学内研修のどちらかを選択する

評価方法・対象・比重

出欠、及び研修先からの報告書、各自の感想とプレゼンテーション

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

各企業でのインターンシップや企業やフリーランスで現在現場で働いている方々より、ピンワーク実技、OEMの講義、グラフィックワークやポートフォリオ制作実務、商品企画カラー戦略、生産管理概論など講義や実技実習を交えて授業を実施

記載者書名欄 阿川 周子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 12202	科 名 アパレルデザイン科 2 年	単 位	1
科目コード 501900	科目名 色彩論	授業期間	前期

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など

1 年次『服飾デザイン論』で学習した色彩の知識を基礎とし、ファッションデザインに活用するための配色の技術、色彩計画の考え方を学習する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 導入	導入	色彩のはたらき	〈講義 1 コマ〉
2. 概論	産業と色彩		〈講義 2 コマ〉
		産業における色彩の役割	
		流行色のしくみ	
3. ファッションカラーコーディネーション			〈講義および演習 4 コマ〉
		色相・トーンによる配色	
		ファッションカラーコーディネーション	
		トーン・オン・トーン／フォ・カマイユ	
		トーン・イン・トーン／コンプレックスハーモニー	
		基調色と配合色	
4. イメージと色彩			
		ファッションイメージと配色	〈講義および演習 3 コマ〉
		色彩の心理的効果／色の連想・象徴	
		色彩によるイメージの表現	
5. 色彩計画	カラーデザイン①		〈講義および演習 5 コマ〉
		コンセプト、テーマの策定	
	カラーデザイン②		
		イメージ構築、カラーパレットの展開	
	カラーデザイン③		
		カラーバリエーションの展開	

評価方法・対象・比重

S・A～C・F 評価 評価基準 : 学業評価 70% 授業姿勢 30%

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座 9 『服飾デザイン』(文化服装学院編／文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー 140

授業の特徴と担当教員紹介

カラーコンサルティングの経験をもとに、ファッションデザインに活用するための配色の技術、色彩計画の考え方を実践的に指導

記載者書名欄 天野豊久

2019 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12202	科 名 アパレルデザイン科 2 年	単 位 1
科目コード 500500	科目名 造形演習	授業期間 後期

担当教員 (代表) : 牧かほり

共同担当者 :

教育目標・レベル設定など

発想-表現-コミュニケーション 3つを連動させながらクリエイションの力をつける。
特に自分自身を見つめ、コンセプトをしっかりと組み立てる力を養う。制作の姿勢が社会や世界に向いていること。
発想力、(特にグラフィックにおける)表現力、伝える力(プレゼンテーションスキル)の強化を目指します。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

発想法、デザインの知識、プレゼンテーション方法などをそれぞれの課題の中で学んでゆく。

- ・ 伝わるポートフォリオの作り方
- ・ 伝わるデザイン
- ・ 紙立体からのデザイン発想
- ・ 粘土立体からのデザイン発想
- ・ コラージュによるストーリーの展開
- ・ ことばの演習 etc.

評価方法

提出物/A, B, C, F

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

フリーランスのイラストレーターとして企業の広告、ディスプレイ製作の経験をもとに、発想、表現、コミュニケーションの3つを連動させながらクリエイション力をつけ、実践的な発想力、表現力、伝える力を課題制作を行いながら習得する授業を実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科2年	単 位	1
科目コード	600210	科目名	ファッションビジネス論 I	授業期間	後期

担当教員(代表): 波多野 辰美	共同担当者:
------------------	--------

教育目標・レベル設定など

ファッション業界に於いて業務推進に必要な知識を具体例を挙げながら、分かり易く説明をし業界人としての基本的な知識の習得を目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ ファッションビジネスの基礎知識 (講義) コマ数=5

- ・オリエンテーション
- ・ファッションマーケットの現状と問題点
- ・生産体制
- ・マーケティング発想のデザインとは
- ・ブランド構築の方法論

テーマ ファッションビジネス演習 (講義、グループ演習) コマ数=8

既存のブランドをグループ毎に担当し、企業と同じ手順で企画を行う

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・スタイリングマップ作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

出席 10% 課題 40% 授業内課題 30% 授業理解度 20%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業における商品企画経験をもとに、営業等の経験により、ファッション業界におけるファッションビジネスの基本的知識をグループ演習を交えて習得する授業を実施

記載者書名欄

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 12202 科 名 アパレルデザイン科 2 学年 (1 組、2 組)

単 位 1

科目コード 904520 科目名 キャリア開発Ⅱ

授業期間 後期

担当教員(代表)： 杉本 直鴻

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

・ 学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につけさせる

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 就職活動の進め方 (…講義 1 コマ)

企業の採用スケジュールとは、採用活動の後ろ倒しとその影響、就職活動の進め方

2. 言葉遣い (…講義+実習 1 コマ)

正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話

3. 電話・Eメール (…講義+実習=1 コマ)

電話のマナー、Eメールのマナー

4. 会社訪問・店舗見学 (…講義 1 コマ)

会社訪問・店舗見学、OB・OG訪問、各注意点

5. 履歴書・エントリーシート(…講義+書き方実習=2 コマ)

選考を通る履歴書・エントリーシートのポイント

6. 面接 (…講義+実習=2 コマ)

コミュニケーションスキル向上と試験対策

7. グループディスカッション (…講義+実習=2 コマ)

コミュニケーションスキル向上と試験対策

8. 作品プレゼンテーション (…講義+実習=2 コマ)

プレゼンテーションスキル向上と試験対策

9. 内定から入社まで (…講義=1 コマ)

内定の意味、誓約書、承諾書、内定式、入社前研修、労働法規の理解

全 13 コマ

評価方法・対象・比重

・ 出欠席、受講態度、実習(面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習) 参画度

主要教材図書

「就職対策 第7版」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

人材教育コンサルタント、イメージコンサルタントとして活動経験をもとに、就職内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につける授業を実施

記載者署名欄

科コード	12202	科 名	アパレルデザイン科2年	単 位	2
科目コード	980020	科目名	特別講義Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表): 阿川 周子	共同担当者: 1組=阿川 2組=森本
-----------------	--------------------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アパレル産業の現状、先輩の実体験からのアドバイス、そして服飾造形にかかわる知識として、レギュラー授業に加えたい内容の講義。</p>
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <p>1、舞台衣裳について・・・渡邊 礼子</p> <p>2、コレクション情報・・・WWD 最新のトレンドについて</p> <p>3、デザイナーの実務と必要条件・・・福山 正和 弥重 優人</p> <p>4、表現の方法について・・・K O J I</p> <p>5、古美術研修予備講話・・・村松 哲文 古美術について</p> <p>6、航空自衛隊装備品の機能について・・・尾崎 博和</p> <p>7、デザイナーの実務・・・宇津木えり クリエイション活動</p> <p>8、民族服について・・・未定</p> <p>9、機能服について・・・佐古 かがり</p> <p>10、帽子の基礎知識・・・窪田 恵美子 5コマ</p> <p>11、生産管理概論・・・佐藤 明彦 5コマ</p> <p>12、子供服について・・・瀧川 歩</p> <p>13、皮革について・・・藤田 晃成 2コマ</p>
--

評価方法・対象・比重

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>皮革企業担当者による皮革の種類・扱い方の解説、企業デザイナーによるスポーツウェアのディレクション、デザイナーによるデザイナーの実務、企業デザイナーによるアパレル商品企画など企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施</p>

記載者書名欄	阿川 周子
--------	-------

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 12213	科 名 アパレルデザイン科 3年メンズデザインコース	単 位	4 単位
科目コード 004700	科目名 パターンデザイン論	授業期間	年間

担当教員(代表) : 小川 登	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要：アパレル企業を始め衣料関係企業に於ける即戦力を目指した、パタンナーの育成。

到達目標：各アイテムの原型パターン作成に伴う、採寸方法、体型把握、実物型紙作製、着せ付けテクニック、補正方法迄。

レベル設定：メンズパタンナーの実技試験に対応する作図法で、スラックス、ベスト、ジャケット、コートの各アイテムを機能性とデザイン性を加味した裁断方法で実習し型紙設計（パターンデザイン）を体型的に理解させる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	デザイン領域・メンズ企画・品質・生産概論・パターン作成。	16	ジャケット用スリーブ基本モデル ・1/4尺定規によるスリーブモデル製図の作製 ・商品の品質に関する主な法律（家庭用品品質表）
2	スラックス（基本構造と名称・採寸方法に付いて。） ・1/4尺定規によるワンアウトタックモデルの製図の作製実習 ・採寸方法及び着せ付け方法に付いて。	17	ジャケット（基本モデル作製） ・実寸によるSB 2ツボタンモデルの製図の作製。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと確認
3	スラックス（基本モデル作製）・J I S基本サイズに付いて ・1/4尺定規によるワンアウトタックモデルの製図の作製実習 ・実寸によるワンアウトタックモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。	18	グレーディングの基本スラックス・ジャケット ・1/4尺定規によるグレーディングの基本展開作製実習 ・ジャケットの補正方法の書き方 ・キングサイズへの対応方法。
4	スラックス（ツーアウトタックモデル作製） ・1/4尺定規によるツーアウトタックモデルの製図の作製実習 ・実寸によるツーアウトタックモデルの製図の作製実	19	ブレザーDB 4ツボタンモデル ・1/4尺定規によるDB 4ツボタンモデル製図の作製実習 ・実寸によるDB 4ツボタンモデル製図の作製実習

	<p>習。</p> <p>・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認</p>		
5	<p>スラックス（ニッカボッカモデル作製）</p> <p>・1/4尺定規によるニッカボッカモデルの製図の作製実 習</p> <p>・実寸によるニッカボッカモデルの製図の参考作製実 習。</p> <p>・現物サンプルによるイメージと縫製特徴点の確認</p>	20	<p>メンズファッションの代表的なスタイルに付いて</p> <p>・英国・ヨーロッパ・アメリカンスタイルに付い て</p> <p>・メンズフォーマルの基礎知識。</p>
6	<p>スラックス（補正方法に付いて）</p> <p>・1/4尺定規によるスラックスの補正方法実習</p> <p>・実寸によるスラックスモデルの製図の実習</p>	21	<p>フォーマルジャケット（ピークカラー）</p> <p>・1/4尺定規によるSB1ツボタンモデル製図の作製実 習</p> <p>・実寸によるSB1ツボタンモデル製図の作製実 習</p>
7	<p>ベスト（基本構造と名称・採寸方法に付いて。）</p> <p>・採寸方法及び着せ付け方法に付い て。 ・ J I S基本サイズに付いて。</p>	22	<p>フォーマルジャケット（ショールカラー）</p> <p>・1/4尺定規によるSB1ツボタンモデル製図作製実習</p> <p>・実寸によるSB1ツボタンモデル製図の作製実習</p>
8	<p>ベストSB5ツボタンモデル（基本モデル作製）</p> <p>・1/4尺定規によるSB5ツボタンモデルの製図の実 習</p> <p>・実寸によるSB5ツボタンモデルの製図の作製実 習。</p> <p>・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認</p>	23	<p>ノーフォークジャケット</p> <p>・1/4尺定規によるSBノーフォークモデルの製図作製実習</p> <p>・実寸によるノーフォークモデル製図の作製実習。</p>
9	<p>ベスト（補正方法に付いて）</p> <p>・1/4尺定規による補正方法の書き方</p> <p>・実寸によるSB5ツボタンモデルの製図の作製実習。</p> <p>・着せ付けによる体型把握、とパタン補正方法の実 習。</p>	24	<p>ジャケット用スリーブ（スリムモデル）</p> <p>・1/4尺定規によるスリムスリーブモデルの製図の作製実 習</p> <p>・実寸によるスリムスリーブモデル製図の作製実 習。</p>
10	ベストDB6ツボタンモデル	25	ラグランコート（基本構造と名称・採寸方法に付い

	<ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるDB6ツボタンモデルの製図。 ・実寸によるDB6ツボタンモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認 		て) <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるラグランコートモデルの製図の実習。 ・採寸方法及び着せ付け方法に付いて。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認
11	スラックス。 <ul style="list-style-type: none"> ・実寸スラックスのパタン作製の確認を行い構造線と寸法変化に伴う出来上り製品の感覚を養う。 ・基本構造と名称及びJIS基本サイズに付いて。。 	26	ラグランコート（基本モデル） <ul style="list-style-type: none"> ・実寸によるラグランコートモデルの製図の作製実習 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認 ・ラグランコートの補正方法の書き方。
12	カマーバンド（5本ヒダモデル作製） <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるカマーバンド5本ヒダの製図の実習 ・実寸によるカマーバンドの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認 ・紳士服の生産フローチャート、企画から生産販売迄。 	27	ラグランスリーブ（3枚袖モデル） <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるラグランスリーブモデル実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。
13	ジャケット（基本構造と名称・採寸方法に付いて。） <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるスリーブ基本モデル製図の作製実習 ・採寸方法及び着せ付け方法に付いて。 	28	ラグランスリーブ <ul style="list-style-type: none"> ・実寸によるラグランスリーブの製図の作製。 ・2ツボタンモデル実寸による裁断。
14	ジャケット（基本モデル作製） <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるSB2ツボタンモデルの製図の作製実習。 ・実寸によるSB2ツボタンモデルの製図の作製実習。 	29	

	<ul style="list-style-type: none"> ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。 		
15	ジャケット（SB3ツボタン中掛けモデル） <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるSB3ツボタンモデルの実習 ・実寸によるSB3ツボタンモデル実習。 	30	

【評価方法】 1・実技作図試験 2・ジャケット、スラックスモデル（メンズパターン実技試験対応）3・授業姿勢 4・出席時間数			
---	--	--	--

主要教材図書	1・伝統的紳士服裁断方法	2・オリジナルテキスト	3・オリジナル資料
参考図書			
その他資料			

授業の特徴と担当教員紹介 百貨店紳士服のカッティングデザイナーとしての経験をもとに、アパレル企業をはじめ衣料関係企業における即戦力を 目指したパターン技術を作品制作を行いながら習得する授業を実施
--

<div> <div>記載者氏名</div> <div>小川 登</div> </div>

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード	12213	科 名	アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単 位	1
科目コード	102200	科目名	工業ニット演習	授業期間	前期

担当教員(代表)：白田 訓子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ニットの基礎知識・商品知識を習得し、アパレルにおけるニット製品を総合的に理解する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

*ニットの一般知識について

ニットの起源・歴史 織りと編みの違い ニットの特性

ニットの三原組織 J I S 記号 編成原理 素材 テキスタイル 器具 用具など

*丸編み製品

横編み製品の理解・Tシャツパターンについて

*Tシャツ縫製

ニットの特殊ミシンの扱いを理解し 伸縮素材の縫製技術 テクニックを学ぶ

Tシャツ製作

*ニットの基礎技術

棒針編み(三原組織)基礎編み製作

工業用手横機による基礎編み製作

ゲージについて(ゲージ見本配布)

ニットの指示書の書き方

*横編み製品について

セーターの編地、縫製方法分析

評価方法・対象・比重

提出物：80%

出欠席・授業姿勢：20%

主要教材図書

参考図書

その他資料 プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業におけるニットデザイン業務担当経験をもとに、ニットの基礎知識・商品知識を作品制作を行いながらアパレルにおけるニット製品を総合的に理解する授業を実施

記載者書名欄 白田 訓子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科 名 アパレルデザイン科 メンズデザインコース3年	単 位	2単位
科目コード 608200	科目名 メンズファッション環境情報	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：金田武

共同担当者：

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

メンズファッションデザイナーとしての情報収集能力、及び情報の咀嚼、活用能力の育成を目標とし、卒業後企業において、即戦力として活躍できるレベルの、実務的ワーキングスキル修得を目指します。

授業概要

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

前期

- ・ ロンドン・ミラノ・パリ 2019AW メンズコレクションより、画像をもちいたファッショントレンドの解説
- ・ 国内テキスタイルメーカーの日本市場における 2017AW 生地トレンド解説
- ・ アパレルにおける商品コスト解説とトレンド情報、トレンド素材からのデザイン演習
- ・ 情報とデザイン(アイデア)発想論、プレゼンテーションの必要性の解説と演習
- ・ 企業における業務フロー内容とスケジューリングポイントの解説、把握
- ・ サーベイの要点解説と情報からのデザインワーク及びプレゼンテーション演習
- ・ リテールの現場からのマーケティング方法論、バイイングワークの解説

後期

- ・ ロンドン・ミラノ・パリ 2020SS メンズコレクションより、画像をもちいたファッショントレンドの解説
- ・ 国内テキスタイルメーカーの日本市場における 2018SS 生地トレンド解説
- ・ トレンド情報と流通する生地サンプルからの 2018SS に向けたデザイン演習
- ・ トレンド情報からの国内マーケットに向けた具体的な戦術と実務ワークの解説
- ・ 差別化できるブランディングとコンセプトメイキングの研究、資料作成
- ・ サーベイによる情報からのブランド開発、ブランディング、マーチャンダイジング資料作成及びデザインワーク
- ・ サーベイからの開発ブランドプレゼン資料作成とプレゼンテーション演習
- ・ その他、各企業のデザイナー、テキスタイルデザイナー等とのトークセッション

評価方法・対象・比重

学業評価 60% 授業姿勢 40%

主要教材図書 オリジナル開発資料

参考図書 なし

その他資料 アパレル企業内実務資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業におけるデザイナー・パタンナー企画、ディレクション業務などの経験をもとに、メンズファッションデザイナーとしての情報収集能力および咀嚼、活用能力を育成し、実務的ワーキングスキルを講義・演習

記載者氏名 金田武

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科 名 アパレルデザイン科メンズデザインコース3年	単 位	単位 2
科目コード 500830	科目名 ファッションデザイン画 III	授業期間	(通年)

担当教員(代表): 橋本 定俊	共同担当者:
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

どのような方法でアパレル業界に携わり社会に結びついていくか自ら考えようとする能力と

学生各自のアイデンティティーの確立を基にメンズデザインのプロとして業界に対し戦力育成

を目指し就職対応のデザイン画ファイルを作成する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1 人体のプロポーション メンズ(3コマ)
 - ヌードプロポーション
 - 正面・横・斜め・後ろ
- 2 ベーシックアイテムのスタイル画と製品図(4コマ)
 - シャツスタイル(着色仕上げ)
 - スーツスタイル ジャケット・パンツ
- 3 デザイン発想(4コマ)
 - テーマ設定の基にメンズアイテムのオリジナルデザイン
- 4 企画ブック制作(3コマ) + 夏期課題
 - 次シーズンのオリジナルデザイン提案
- 5 機能服のデザイン考案(2コマ)
 - 機能服の歴史から現代に合うテーマの基にオリジナルデザイン
- 6 パターン・図案のデザイン考案(2コマ)
 - オリジナル図案をデザインしベーシックアイテムに着色表現
- 7 ファッションクロッキー(2コマ)
 - 制限時間内に素早く描くためのテクニック
- 8 修了制作(5コマ)
 - 校内ファッション画展
 - テーマの基ファッションイラストレーションを描く
 - 画材紹介・パステル・マーカー(デモンストレーション)
- 9 まとめ(2コマ)

評価方法・対象・比重

1～8の各課題作品と学年末試験による評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業でデザイナーを担当していた経験をもとに、メンズデザインのプロとして業界で対応できるデザイン画ファイルの制作技術実習の実施

記載者氏名 橋本 定俊

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科 名 アパレルデザイン科メンズデザインコース 3年	単 位	1 単位
科目コード 504000	科目名 グラフィックワーク	授業期間	(14)

担当教員(代表) : 佐谷 眞樹	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アドビ・イラストレーターを使って精密なハンガーイラストの作成とデザイン展開。
 先染め柄やプリント柄の製作とシュミレーション。「デザインおよび企画プランの美しいビジュアル表現」を
 可能にするためのベース技術を学ぶ。

【授業計画】			
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先			
コマ	内 容	コマ	内 容
1	オブジェクトの作成と変形、長方形から身頃を描く	16	
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	
3	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	18	
4	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツの作成	19	
5	シャツを描く=デザインの効果的な修正方法	20	
6	ジャケットを描く(フロント&バックスタイル)	21	
7	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	22	
8	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	23	
9	ベルト、バックルの表現=金属の表現、レースアップ表現	24	
10	チェーンベルト、二本針などをブラシで作成	25	
11	自己表現によるデジタルマップ作成	26	
12	自己表現によるデジタルマップ作成	27	
13	自己表現によるデジタルマップ作成	28	
14	自己表現によるデジタルマップ作成	29	
15		30	

評価方法・対象・比重 課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 製作手順のデータを配布

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル企業での業務経験やデザイナー活動による経験をもとに、グラフィックソフトを使って精密なハンガーイラストの作成とデザイン展開、先染め柄やプリント柄の制作とシュミレーション、デザインおよび企画プランの美しいビジュアル表現を可能にするためのベース技術を作品制作を行いながら習得する授業を実施

記載者氏名 佐谷眞樹

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科 名 アパレルデザイン科メンズデザインコース 3 年	単 位	1 単位
科目コード 504000	科目名 グラフィックワーク	授業期間	(14)

担当教員(代表)：佐谷 眞樹	共同担当者： 渡辺
----------------	-----------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アドビ・イラストレーターを使って精密なハンガーイラストの作成とデザインデータの展開。

先染め柄やプリント柄の製作とシュミレーション。「デザインおよび企画プランのスピーディでわかりやすい

ビジュアル表現」を可能にする為のベース技術を学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ：(大) コンピューターを利用して表現する、ビジュアルなプレゼンテーション技術の修得

(中) ハンガーイラストによるデザイン、色のスピーディーな展開

(小) 先初め柄、プリント柄の作成及びその展開

授業内容：イラストレーターによるハンガーイラスト

イラストレーターによる先染め柄、プリント柄く送りのある>の作成

イラストレーターによる小物イラストの作成

写真のスキヤニングとイラストレーターへの配置

写真、イラスト、カラーイメージ、文字などをイラストレーターで編集した企画書表現

授業方法：生徒の前で実演する

生徒に実習させ、個々の作業をサポートする

学習用のデータを配布

制作物：ハンガーイラストのよるデザインとデジタルマップの作成

使用パソコン及びソフト：imac アドビ イラストレーターCC・アドビ フォトショッブCC

評価方法・対象・比重

課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 製作手順のデータを配布

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業での業務経験やデザイナー活動による経験をもとに、グラフィックソフトを使って精密なハンガーイラストの作成とデザイン展開、先染め柄やプリント柄の制作とシュミレーション、デザインおよび企画プランの美しいビジュアル表現を可能にするためのベース技術を作品制作を行いながら習得する授業を実施

記載者氏名 佐谷眞樹

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科 名 アパレルデザイン科3年 メンズデザインコース	単 位	1
科目コード 903300	科目名 企画論	授業期間	前期

担当教員(代表): 羽田 武幸	共同担当者:
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

学生レベルではなく企業間で行われている実践レベルのプレゼンテーションや企画立案を体験することにより就職活動や社会に出てからの即戦力になる企画力・技術を習得

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

フレックスジャパン株式会社とのコラボレーション『シャツ講座』に連携する

- ・プレゼンテーション論
プレゼンテーションとは
プレゼンテーションの考え方・方法
- ・企画立案
商品とは
企画立案から商品が出来るまで
- ・テーマに沿った資料作成(フレックスジャパンへの商品企画)
フレックスジャパンへのプレゼンテーション
マップの作成・相談
- ・作成した資料・デザインのチェック(修正)
- ・プレゼンテーション演習Ⅰ
フレックスジャパンに向けての演習Ⅰ
- ・演習の確認
- ・プレゼンテーション演習Ⅱ
- ・フレックスジャパンに向けてプレゼンテーション
講評・採点

評価方法・対象・比重

S~C・F評価 評価基準: 学業評価(平常成績)80%/授業姿勢20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 オリジナルプリント・スライド

授業の特徴と担当教員紹介

デザイナーとして多くの企業のデザインを担当した経験をもとに、企業間で行われている実践レベルのプレゼンテーションや企画立案を演習することにより、即戦力になる企画力・技術力を習得する授業を実施

記載者書名欄 鈴木 憲道

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科 名 アパレルデザイン科3年 メンズデザインコース	単 位	2
科目コード 980030	科目名 特 別 講 義 III	授業期間	通年

担当教員(代表)：鈴木 憲道	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

主にアパレル業界で活躍している講師を招き、実践経験をふまえた生の情報、リアルタイムな話題などを短期集中で講義していただき、就職や個人の将来の参考、目標とする

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1 シャツ・・・・・・・・4コマ 高橋 弘 氏
ドレスシャツの設計
- 2 メンズコレクション情報・・・・・・・・6コマ 石辺 啓道 氏
メンズ業界のあり方
コレクション解説Ⅰ・Ⅱ／ファッションの変遷／ビジネスガイダンス／
ファッションの傾向／社会に出る前に／伊勢丹メンズ館見学
- 3 マーチャンダイザーの知的財産権について・・・・・・・・1コマ 金井 倫之 氏
グローバル時代のブランドの守り方
- 4 ISSEY MIYAKE・・・・・・・・1コマ 宮前 義之 氏
デザイナーの仕事
- 5 SENSE・・・・・・・・1コマ 北原 哲夫 氏
クリエイティブディレクターとは
- 6 デザイナーの在り方・・・・・・・・1コマ 高柳 成克 氏
メンズデザイナーの役割
- 7 メンズファッションの原点・・・・・・・・1コマ 石津 祥介 氏
日本のメンズファッション
- 8 現代の Ivy とは・・・・・・・・1コマ 石津 壘 氏
- 9 ビスポークテラー・・・・・・・・1コマ 有田 一成 氏
カッターとしての心得
- 10 vintage life・・・・・・・・1コマ 橋本 定俊 氏
ワークウェア(素材・テキスタイル～アイテムを繋げる)
- 11 服飾副資材・・・・・・・・2コマ 二上 雅雄 氏
副資材の役割(室谷 株式会社)
- 12 商品開発・・・・・・・・1コマ 太田 洋平 氏
企業デザイナー・パタンナーの役割
- 13 カッティング技術・・・・・・・・2コマ 杉本 浩一 氏
サヴィルロウのカッティング技術/ジャケット編
- 14 メンズウェアの企画からブランド立ち上げについて・・・大島 裕幸 氏 ・ 小高 一樹 氏
ブランド立ち上げの HOW TO
- 15 KENJIRO SUZUKI・・・・・・・・1コマ 鈴木 健次郎 氏
パリのテラー技術
- 16 ファッションとオペラ・・・・・・・・1コマ 上木 幸夫 氏
ヨーロッパ社交界 オペラの世界
- 17 靴・・・・・・・・1コマ 宮原 勝一 氏
紳士靴の商品知識
- 18 シャツ講座・・・・・・・・14コマ 庄村 成央 氏
フレックスジャパン株式会社とのコラボレーション
メンズシャツ商品企画提案(メンズデザイン論・企画論と連携して授業を行う)

評価方法・対象・比重

履修認定(P表示) 評価基準：学業姿勢・出席状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

企業デザイナーによるシャツ設計の講義、企業デザイナーによるデザイナーの仕事、メンズデザイナーの役割、メンズファッションについて、企業デザイナー・パタンナーの役割の講義、カッターによるカッティング技術の指導、メンズシャツ企業とのコラボレーションなど、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者書名欄 鈴木憲道